



レムナントが みなければ ならない あいた ところ

げつようび

使徒
8章 7～8節

汚れた^{けが}霊^{れい}につかれた^{おお}多くの^{ひと}人^{たち}からは、その^{れい}霊^{おお}が^{おこ}大声^{ごえ}で^き叫^けんで^で出^いて^い行^おくし、多^{おほ}くの^{ちゆうぶ}中^{もの}風^{あし}の^{もの}者^なや^な足^{あし}の^なえ^なた^おる^お者^おは^ま直^ちった^まから^おである。それでその^{まち}町^おに^{おほ}大^{おほ}きな^{よろこ}喜^こび^{おほ}が^{おこ}起^おこ^おった。

学校^{がっこう}で^{べんきよう}勉^{おほ}強^いする^{おほ}多^なくの^{ないよう}内^{わた}容^しは、私^{わたくし}たち^かが^{かんが}考^{かんが}え^はたり^{はんだん}判^{せんたく}断^ししたり、選^{せんたく}択^ししたりする^{おほ}と^きの^{きじゆん}基^{わた}準^しにな^ります。私^{わたくし}たち^がい^る現^{げんば}場^ばには、福^{ふくいん}音^いが^なく、サ^{さたん}タ^んの^ど奴^ど隷^{れい}にな^りて^い生^いきて^いく^人で^いっ^{ぱい}です。聖^{せいしよ}書^{しよ}の^{レムナント}レ^ムナ^ント^が生^いきて^いた^とき^も、ま^つた^く同^{おな}じ^でした。この^{とき}時^{せいしよ}の^{レムナント}レ^ムナ^ント^{には}福^{ふくいん}音^いが^ない^現場^{げんば}を^み見^る福^{ふくいん}音^いの^め目^めが^あり^まし^た。それ^{ゆえ}ゆ^え、福^{ふくいん}音^いで^人だ^けで^なく、^{くに}国^をを^い生^いか^して^し時^じ代^{だい}を^{へんか}変^{へん}化^かさ^せた^のです。

神^{かみさま}様^いは^私私^{わたくし}たち^を通^{とお}して^{ぜん}全^{ぜん}世^せ界^{かい}237^こか^{くに}国^{くに}に^{ふくいん}福^{ふくいん}音^いが^い宣^のべ^{つた}伝^{ねが}え^られる^こを^願願^{ねが}っ^てお^られ^ます。世^せ界^{かい}に^{きやうかい}教^{おほ}会^{おほ}は^多多^いの^{です}が、福^{ふくいん}音^いが^き消^しえて^{しゆうきやう}宗^{しゆ}教^{きやう}に^なり^まし^た。む^しろ^も教^{きやうかい}会^{かい}が^霊霊^{れい}的^{てき}問^{もん}題^{だい}を^{じちやう}助^じ長^{ちやう}し^てい^る残^{ざん}念^{ねん}な^姿姿^も見^みか^けま^す。世^よの^{なか}中^{なか}は^{ふくいん}福^{ふくいん}音^いだ^けを^し知^しら^ない^あ空^あいた^{じやうたい}状^{じやう}態^{たい}に^なっ^たの^{です}。

私^{わたくし}たち^の家^か庭^{てい}と^が学^が校^{がう}現^{げんば}場^ばの^姿姿^を福^{ふくいん}音^いの^目目^で見^みる^こが^でき^るよ^うに^祈祈^{いの}り^まし^まし^う。そ^のよ^うな^{レムナント}レ^ムナ^ント^は、神^{かみさま}様^いの^みこ^とば^のよ^うに、サ^{さたん}タ^んに^と捕^とわ^れた^未未^み信^{しん}者^{じや}の^{いっしやう}一^い生^{しやう}を^み見^るよ^うに^なる^でし^う。神^{かみさま}様^いは^{ふくいん}福^{ふくいん}音^いを^も持^もつ^{レムナント}レ^ムナ^ント^を通^{とお}して^あ空^あいた^と所^{ところ}を^い生^いか^すこ^とを^願願^{ねが}っ^てお^られ^ます。今^け日^に握^{にぎ}った^{けいやく}契^{わたくし}約^{ちやく}の^とお^り、私^{わたくし}たち^は近^{ちか}い^うち^に空^あいた^と所^{ところ}を^{ふくいん}福^{ふくいん}音^いで^み満^みた^す答^{こた}え^をを^あ受^あけ^て味^{あじ}わ^うよ^うに^なる^でし^う。



きょうのみことば



きょうのいのり

神^{かみさま}様^い、あ^りが^とう^ござ^いま^す。現^{げんば}場^ばは、福^{ふくいん}音^いが^なく^あ空^あいた^{じやうたい}状^{じやう}態^{たい}です。そ^のよ^うな^現場^{げんば}を、た^だ福^{ふくいん}音^いで^い生^いか^すレ^ムナ^ント^とな^るよ^うに^{みちび}導^{みち}いて^くだ^さい。生^いきて^おら^れる^{イエス}イ^エス^{キリスト}キ^リス^トの^お名^な前^{まえ}に^よっ^てお^祈祈^{いの}り^まし^ます。ア^ーメ^ン



現^{げんば}場^ばは、神^{かみさま}様^いを^{はな}離^あれて^あ空^あいた^{じやうたい}状^{じやう}態^{たい}に^なり^まし^た。聖^{せいしよ}書^{しよ}に^き記^き録^{ろく}さ^れた^現場^{げんば}の^{れい}霊^{れい}的^{てき}事^じ実^{じつ}が^か書^かか^れた^みこ^とば^をを¹1^つ選^{えら}ん^で書^かい^てみ^まし^う。私^{わたくし}を^と通^{とお}して^{ふくいん}福^{ふくいん}音^いが^{つた}伝^{つた}え^られる^よう^に祈^{いの}り^まし^う。

書いてみよう

げんば れいてきじつ
現場の霊的事実
みしんじやじやうたい
未信者状態 6つ

①ヨハネ 8:44	②I コリント 10:20
③マタイ 11:28	④使徒 8:4~8
⑤ヘブル 9:27	⑥出 20:4~5

わたくし えら
私が選んだみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりやう
準備する資料



きょうが みらいです

ダニエル 1章 8節 **ダニエル**は、**王**の**食べる**ごちそうや**王**の**飲む**ぶどう酒で身みを汚けがすまいと心こころに定さだめ、身みを汚けがさないようにさせてくれ、と**宦官**の**長**に願ねがった。

過去かこは過ぎ去すり、未来みらいはまだ来きていないので、レムナントレムナントは今日きょう、いまこの時間じかん、福音ふくいんであるキリストかみさまを神様けいやくの契約にぎとして握にぎるべきです。すると、今いまもお、あちこちで繰かえり返かえされている、イスラエル民族いすらいえんが受うけたわざわいとのろいを止とめることができます。これが神様かみさまがわざわいの時代じだいごとにレムナントレムナントを備そなえられた理由りゆうです。神様かみさまはバビロン時代バビロン時代に、ダニエルダニエルと三人さんの同僚どうりょうを備そなえられました。イスラエル民族いすらいえんが経験けいけんした侵略しんりやくの時刻表じこくひょうが、かえって異邦いほうの国くにと王おうたちに福音ふくいんを宣つたえ伝える世界福音化せかいふくいんかの時刻表じこくひょうになったのです。これは、特別とくべつな奥義おくぎがあったために起おこりました。特別とくべつな奥義おくぎとは、毎日まいにちの福音ふくいんを味あじわう祈いのり時間じかんです。

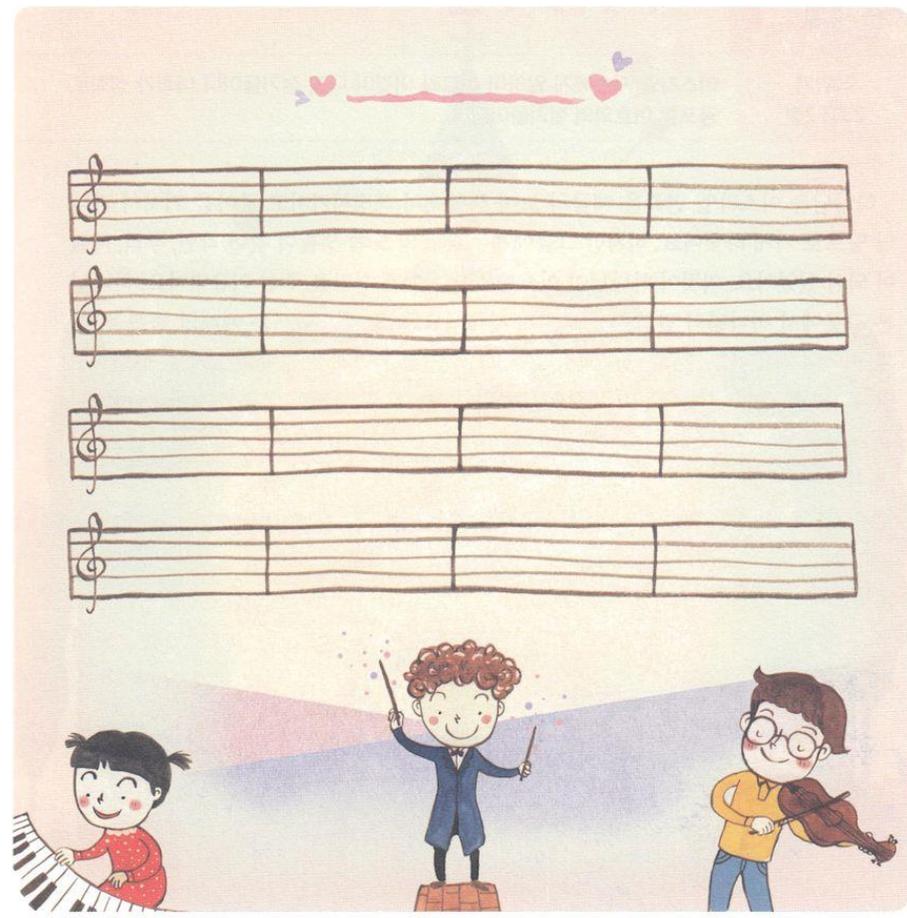
今日きょうから私わたしたちに与あたえられた私わたしの場所ばしょで、キリストけいやくの契約にぎを握にぎって祈いのりを始めはじめましょう。今いまできていなくても、だいじょうぶです。今いま、私わたしの姿すがたを神様かみさまの前まえにすなおに出だして祈いのれば、神様かみさまは喜よろこばれるでしょう。やがて、世界福音化せかいふくいんかの場所ばしょにいるようになります。

きょうのみことば

きょうのいのり **神様**、ありがとうございます。福音ふくいんで幸しあわせな今日きょうになりますように。神様かみさまから与あたえられる力ちからで世界福音化せかいふくいんかの証人しやうにんとなりますように。生きておられるイエス・キリストいすのお名前なまえによってお祈いのります。アーメン



賛美さんびは、祈いのりです。私わたしの告白こくはくとなる讚美歌さんびかをひとつ選えらんで楽譜がくふを書いてみましょう。歌詞かしとメロディーがすべて私わたしに刻印こくいんされてまことの祈いのりになりますように。



きょうのでんどう **あ** **ひと** **会** **う** **人**

じゆんび **しりょう** **準備** **する** **資料**



24 レムナントが まもらなければならない かみさまの ひ

レビ 「イスラエル人に告げて言え。あなたがたが聖なる会合として召集する主の
23章2節 例祭、すなわちわたしの例祭は次のとおりである。

神様は、イスラエル民族をエジプトの奴隷生活から解放して、荒野を^と通^らせてカナンの地に行くように導かれました。しかし、彼らにはエジプトの奴隷生活による刻印、根、体質がしっかりと残っていました。ここに神様がイスラエル民族に幕屋を与えられた理由があります。神様は幕屋を通して神様のみことばを宣言されました。会見の天幕に集まって礼拝の祝福を、各家庭と現場の天幕で神様の恵みのみことばを味わうようにされました。そして、三つの祭りを通して、神様のことで新しい刻印、根、体質になるようにされました。神様はさらに、安息日をくださいました。その日は、まことの礼拝の祝福を味わうために与えられました。完全福音の中に入るための最高の力を受ける日をくださったのです。また、心から神様を信じて頼る力を体験する日になりました。

私たちもレムナントが守らなければならない神様の日として安息日の契約を握りましょう。イスラエル民族のように、すべてを回復するでしょう。すると、霊的事実が見えてきて、キリストがすべての問題の完ぺきな解答という事実を悟るようになります。それとともに、神様の完ぺきな導きを自分のものとして体験とするようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちの礼拝を受けてくださり、今日が過越の祭り、種を入れられないパンの祭りの祝福を味わって確認する日になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン



みことばを
適用しよう

きょうのみことばを私の契約として、しっかりと心に留めましょう。みことばから選んだ重要な単語で作った下の祈りの文を読んで、（ ）にことばを入れましょう。自然にみことばが刻印されて私の契約になるでしょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



25

もくようび

えいえんの けいやくの たみ

レビ
23章 18節

そのパンといっしょに、主への全焼のいけにえとして、一歳の傷のない雄の子羊七頭、若い雄牛一頭、雄羊二頭、また、主へのなだめのかおりの、火によるささげ物として、彼らの穀物のささげ物と注ぎのささげ物とをささげる。

神様は時代ごとにレムナントを備えられ、レムナントを通して世界福音化の祝福を成し遂げられました。神様はエジプト時代にレムナントのモーセを通してイスラエルを解放されました。また、イスラエルの民がエジプトの奴隷生活を通してできた奴隷根性、荒野生活を通してできた恨みと不平の荒野根性をなくすために、神様は神様のみことばをモーセ五書としてモーセに記録するよう命じ、刻印、根、体質を変えるためにこれを用いられました。そのときに記録された神様のみことばは、いまも成就しています。エジプトからの解放を祝う過越祭、神殿の祝福を通して神の国のご臨んだ五旬節、そして、仮庵祭は、当時記録されたみことばの中でも最も重要な契約と言えるでしょう。

今日、過越祭の祝福としてまことの解放、まことの救い、キリストの祝福と五旬節の神殿の祝福としてくださった、ただ聖霊の力を味わうことができます。仮庵祭の祝福も味わうことができます。そうすれば、神の国とその背景が確認できるので、体験することができます。神様のみことばは今もまったく同じように働かれています。今日、この時間にささげる礼拝で、すべてを回復して力を受けて祝福を味わうレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。五旬節の祝福である神の国のごことを味わう、まことの証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんで
います！

今月のなやみをいっしょに見ましょう。



パク・ウヨン牧師夫人
わたし、なやんでいます！

神の国のごことが私に私のある場所で起きているということ、どのようにして知ることができますか

私たちが生きるこの世界には、三つの国があります。世の国、サタンの国、そして神の国です。ほとんどの人は、世の国に対してあまりにも多くの関心を寄せています。ですから、神の国について、考えることすらできない場合が多いです。今日、質問してくれたお友だちは、とてもレベルの高い質問をしましたね。

神の国に実際に目に見える形で臨んで、別の世界の領域を展開するようなものではありません（ルカ 17:20）「神様の統治」を意味します。また、衣食住のことではなく、聖霊の中で平安と喜びを受けることを言います。（ローマ 14:17）その背景は、ことばではなく、ただ力を意味します（1コリント 4:20）。

私の霊的状态によって、神の国のごことに差が生じることがあります。ある人には自分の刻印、根、体質を変えるために、過越の血の契約で毎日感謝するのが神の国のごことになり、また、ある人には自分を越えて他の人や家系、また、他の民族を生かすことが神の国のごことになるかもしれません。

そのような神の国のごことについて、最も重要なことがあります。それは、私を生かすために、身代わりとして死んで復活して私のおともにおられる神様がとても大切であるゆえに、礼拝が待ち遠しく、切実な思いになることです。

あなたは礼拝をどのようにささげていますか。私に神の国が臨めば、礼拝時間に賛美することがうれしくて、お祈りしたくなって、みことばを信じて、他の人のたましいを生かすことに用いられたいくなります。今日、私がささげる礼拝を点検してみましょう。神の国のごことが、私にどのように現れるのかを知ることができるでしょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Blank lines for notes or preparation.

26

きんようび

かんしゃする ところ

ヨシュア ^{あし うら ふ とこ} あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、
 1章3節 ^{あな た が た に 与 えて いる。} あなたがたに与えている。

ヨシュアはモーセについて回って、神様がともにおられることを、あらかじめ見ました。そして、カナンの地に入る前から、その地をすでに与えたという神様の約束もあらかじめ受けました。神様はヨシュアに、神様がともにおられることをあらかじめ味わい、恐れずに雄々しくあって、カナンの地に入りなさいと言われました。その理由は、神様がその地をあらかじめ征服して、これからのこともすべてあらかじめ成就されたからです。

今日も神様が私とともにおられる契約と祝福をあらかじめ味わいましょう。神様が私を通して、学校現場とすべての友だちを生かすビジョンと夢をあらかじめ握りましょう。すでにカルバリの丘の十字架で勝利されたキリストが征服された現場に大胆に進めば良いのです。ヨシュアとイスラエル民族がヨルダン川を渡って記念碑をたてたように、神様のことを見たレムナントになることを祈りましょう。ある日、すべての問題が記念碑をたてるほどの答えに変わるのを体験するでしょう。



まようのみことば



まよりのいのり

神様、ありがとうございます。ヨシュアのように、恐れなくて私とともにおられる神様がくださるビジョンと夢を持って、毎日祈りますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

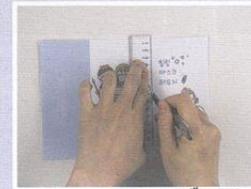


ワーク

新型コロナウイルスが流行っていますが、この時代に必要なプレゼントは福音です。友だちに福音を伝える伝道トラクトを作りましょう。また、トラクトを渡すとき、神様のプレゼントである福音の意味を説明することができるように準備をしましょう。



2 ページあとにある図のり、定規、はさみテープ（またはマスキングテープ）



1) 2 ページあとの図のまわりを切ります。

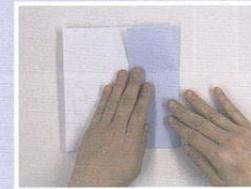
(写真の紙は厚いので、カッターを使っていますが、2 ページ後の紙は薄いのでカッターは使いません)



2) 右側の点線を、イエス様の絵を覆うようにあります



3) 図をひっくり返して点線にそってあります



4) おった部分をもう一度広げてのこりの点線もあります



まよりのでんどう

あひと 会う人

じゆんばく 準備する資料



そのとき、^{あかつき} 暁のように
あなたの^{ひかり} 光がさしいで、あなたの^{きず} 傷は
すみやかにいやされる。あなたの^ぎ 義は
あなたの^{まえ} 前に進み、主の^{すず} 栄光が、
あなたの^{しんがり} しんがりとなられる。
(イザヤ 58:8)

しかし、わたしの^な 名を恐れるあなたがたには、
^ぎ 義の^{たいよう} 太陽が上り、その^{つばさ} 翼には、いやしがある。
あなたがたは^{そと} 外に出て、
^{ぎゅうしゃ} 牛舎の子牛のようには^{まわ} ね回る。
(マラキ 4:2)

ヒーリング
マスク
いれ

